

## ① この夏の天候と梅雨について — 気象予報士からの解説 —

6月20日発表の3か月予報（7月～9月）によると、向こう3か月の**気温は平年並みか高め、降水量は平年並みか多い**と予想されています。

エルニーニョの影響で、日本付近では偏西風は平年より南を流れ、天候不順で前線や低気圧の影響を受けやすくなります。このため、梅雨が長引き、大雨が降りやすい可能性があります。

一方で地球温暖化の影響等で、地球全体の気温は高めで推移しています。また、8月の気温は高めと予想されており、梅雨明け後は猛暑となり、残暑も厳しい可能性があります。



### ● 気象庁発表 関東甲信の3か月（7～9月）予報 6/20 発表 出典●気象庁 HP

	気温	降水量
7月	ほぼ平年並み	平年並みか多い
8月	高い見込み	ほぼ平年並み
9月	平年並みか高い	ほぼ平年並み

\* 最新の予報を確認下さい。  
1か月予報は毎週⑧14:30ころ、  
3か月予報は毎月19～25日の間の⑧の14:00ころ  
発表されます。

### ◆ エルニーニョとラニーニャ

東太平洋の赤道域（ペルー沖）の海水温が高い状態を「エルニーニョ」、低い状態を「ラニーニャ」といい、日本の天候に大きな影響を与えています。夏の場合、エルニーニョは天候不順、ラニーニャは暑い夏になりやすい傾向があります。気象庁6月10日発表の監視速報によると、**エルニーニョ現象が発生しており、今後、秋にかけて続く可能性が高い**としています。（90%）

### ◆ 線状降水帯

積乱雲が線状に次々と発生して、ほぼ同じ場所に停滞、あるいは通過し続けることで、**極端な集中豪雨をもたらすもの**を言います。気象庁では、「線状降水帯」をキーワードに、気象情報等で呼びかけを行います。

#### ☞ 「線状降水帯」発生の可能性の発表

：半日程度前に「気象情報」で呼びかけます。

例) 「大雨に関する〇〇地方気象情報 第〇号

〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

〇〇地方では、〇日夜から〇日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。」

☞ 「線状降水帯」が発生している場合：随時「顕著な大雨に関する気象情報」で注意喚起します。

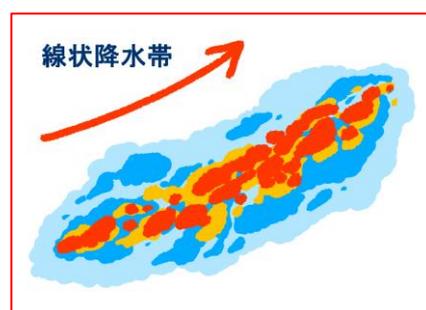
この情報は、警戒レベル4（避難指示）相当となります。

例) 「顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第〇号

〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表

〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。

命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。」



【文責】 宮澤 信（気象予報士）